

# 洞爺湖町 議会だより

No.66

令和4年7月・9月会議  
2022.11



洞爺湖ビジターセンター

## 主な内容

- P 2～3 令和4年7月・9月会議 議案審議
- P 4～11 一般質問8名登壇
- P 12～13 委員会活動レポート
- P 14 表紙の施設(写真)概要  
議会の動き・編集後記



# 令和4年 7月会議

7月会議が7月28日に開会し、町長から提出の議案2件を原案どおり可決しました。

## 【主な議案の審議内容】

### 人事案件

○固定資産評価審査委員会委員の選任  
越後進一氏（49歳）の選任について同意。

### 補正予算

○一般会計  
歳入歳出をそれぞれ6656万円の増額。  
・洞爺ふれ愛センター温泉槽計測盤修繕 232万円  
・KH・1泉源浚渫工事事業補助金 3500万円  
・訪日外国人旅行者周遊促進事業補助金 528万円

・学校給食会計補助金 113万円  
・洞爺湖満喫クーポン事業補助金 2220万円  
・医療機関等支援助成金 123万円

# 令和4年 9月会議

9月会議が9月12日から21日まで開会し、町長から提出の同意1件、報告3件、議案11件、認定7件を原案どおり可決しました。また、議員提案の意見書1件を可決、3件を否決しました。  
なお、8人の議員が一般質問を行いました。

## 【主な議案の審議内容】

### 人事案件

○功労者の同意  
加藤公二氏、石川須美子氏、真屋敏春氏、小林 忍氏、原田尚一氏の5名を洞爺湖町功労者として同意。

## 【功績の概要】

○加藤公二氏（81歳）  
16年の永きにわたり、自治会連合会役員として、地方自治の振興発展に貢献をされた。

○石川須美子氏（63歳）  
30年余の永きにわたり、洞爺地区の歯科診療所の歯科医師及び学校歯科医として、地域の保健衛生の向上及び児童生徒の健全育成に貢献をされた。

○真屋敏春氏（73歳）  
12年の永きにわたり、町長として、町政の執行と地方自治の伸展に貢献をされた。

○小林 忍氏（69歳）  
18年余の永きにわたり、農業委員会委員として、地域農業の向上と発展に貢献をされた。

○原田尚一氏（61歳）  
16年余の永きにわたり、農業委員会委員として、地域農業の向上と発展に貢献をされた。

## 報告

○健全化判断比率  
実質公債費比率10・6  
（前年度比△0・3）  
将来負担比率 30・9  
（前年度比△11・2）  
○資金不足比率  
資金不足額の発生なし  
○㈱グリーンステイ洞爺湖の運営状況

## 条例改正・廃止

○洞爺湖町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のため、育児休業に関する法律の改正が行われたことに伴う条例の改正。  
○自治会長の手当額及びその支給方法に関する条例の廃止

自治会長は任意団体の長で、行政組織における構成員ではないことなどから条例を廃止する。

## 洞爺湖町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更

○洞爺湖町公共施設等総合管理計画の改訂に係る計画の一部変更。

## 契約の締結

○工事請負契約の締結  
湯元橋修繕工事  
契約金額 6215万円

## 工事委託協定の変更

○工事請負契約の締結  
洞爺湖町公共下水道蛇田下水終末処理場他の建設工事委託の協定金額中「3億6200万円」を「5億140万円」へ変更。

## 補正予算

○一般会計  
歳入歳出をそれぞれ5841万円の増額。  
・みんなの基金積立金 △486万円

- ・ふるさと納税ブランド力強化事業 612万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 961万円
- ・国庫補助金精算償還金 1174万円
- ・農業経営承継・発展支援事業補助金 300万円
- ・農業経営高度化支援事業 935万円
- ・町道側溝復旧工事 700万円
- ・河川浚渫工事 150万円
- ・町営住宅修繕 258万円
- ・育英資金の基金積立金 △126万円
- ・洞爺総合センター支障木等伐採委託料 168万円
- ・体育施設修繕 160万円
- ・プレミアム商品券発行事業 1050万円
- ・貨物自動車運送事業者燃油高騰対策支援金 316万円
- ・農漁業用燃油高騰対策補

- 助金 38万円
- ・医療機関等支援助成金 87万円
- ・予備費 △1410万円
- 公共下水道事業特別会計  
歳入歳出をそれぞれ456万円の増額。  
・国庫補助金精算償還金 251万円
- ・消費税 71万円
- ・予備費 134万円
- 介護保険特別会計  
歳入歳出をそれぞれ580万円の増額。  
・介護保険給付費支払準備基金積立金 2926万円
- ・介護給付費負担金等返還金 3310万円
- ・予備費 △5656万円
- 簡易水道事業特別会計  
歳入歳出をそれぞれ25万円の減額。  
・予備費 △25万円
- 後期高齢者医療特別会計  
歳入歳出をそれぞれ85万円の増額。  
・一般管理事務事業 85万円
- 水道事業会計 85万円

収益的収入及び支出をそれぞれ128万円の減額。  
・予備費 △128万円

**意見書**

○防衛費を対GDP比2%以上に大幅増額することに反対する意見書(案)  
―否決―

○政府閣僚と旧統一協会との癒着の実態を調査・公表することを求める意見書(案)  
―否決―

○安倍元首相の国葬の中止を求める意見書(案)  
―否決―

○国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書(案)  
―可決―

**決算認定**

○令和3年度一般会計ほか6会計の決算に意見を付して認定

**令和3年度各会計決算額**

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	差引額	
一般会計	85億4526万円	83億3362万円	2億1164万円	
国民健康保険特別会計	12億4117万円	12億3960万円	157万円	
公共下水道事業特別会計	9億4756万円	9億4464万円	292万円	
介護保険特別会計	11億8248万円	11億2592万円	5656万円	
簡易水道事業特別会計	1億3567万円	1億3017万円	550万円	
後期高齢者医療特別会計	1億7455万円	1億6832万円	623万円	
水道事業会計	収益的収支	2億5627万円	2億3719万円	1908万円
	資本的収支	1億2653万円	1億9446万円	△6793万円

# 安心・安全な町を目指して



大久保 富士子 (公明党)

## 質問 1

**災害対策強化に向けた洞爺湖町における個別避難計画について**

**問** 8月27日に津波を想定した訓練が実施されたが今回の訓練に避難行動要支援者は参加したか伺う。

**答** 訓練参加者103名のうち23名が避難行動要支援者となっています。津波浸水想定区域内に居住している避難行動要支援者宅を直接訪問して在宅の確認を実施しました。

**問** 個別避難計画の策定が有効とされたことから、避難行動要支援者について避難計画を策定することが市町村の努力義務とされた。当町における避難行動要支援者の登録者数について伺う。

**答** 現在、77名の登録となっています。いまだに災害により多くの高齢者が被害を受けており、個別避難計画を実効性のあるものにするのが重要

であると言われていたが、当町にて課題になっていることを伺う。

**答** 支援を要すると思われる方であっても、現在避難行動要支援者としての登録及び個別計画の策定に至っていない方がおられるものと考えています。今後においても関係機関との連携強化、情報共有を図りながら、要支援者の方が地域で孤立することないよう実態の把握と併せまして積極的な要支援者としての登録に向けた働きかけに努めてまいります。

## 質問 2

**虻田火葬場について**

**問** 虻田火葬場における年間の使用料と維持管理費について伺う。

**答** 令和3年決算では、198万円が火葬場使用料として収入になっています。支出については維持管理上必要となる修繕を含めまして940万円の経費を要しています。

なお令和3年の伊達火葬場供用開始にあわせ、伊達火葬場を使用された町民の方に対しまして2万円を負担することとし、伊達市に166万円支出しています。

**問** 築年数と、今後の予想される改修費用について伺う。

**答** 築年数は45年が経過しています。計画的に修繕、または改修を行うこととして計画終了令和12年度までに2640万円程度と試算しています。

**問** 現時点において虻田火葬場に対する町の考えを伺う。

**答** 町が火葬場の関係事務を担う上で、担当課の懸念材料を考えたときに、昨年3月に伊達火葬場が建設、運用されている現状を考えますと早期の廃止が必要と考えています。

**問** 当町より伊達火葬場の使用料の助成額を増額する考えはあるか伺う。

**答** 虻田火葬場の役目が終わりましたら、速やかに予

算の許す範囲内で減免額を増額し、実質負担軽減を残されたご遺族のために考えていきたいと思っております。



虻田火葬場



# 3地域間(洞爺~虻田)をスムーズに移動できる交通網整備の見通し

## 立野 広志 (日本共産党)

### 質問 1

地域住民とともにつくる洞爺地域のまちづくりを

**問** 小葉投資開発株式会社への対応は、「完全白紙」だということを行行政がしっかりと認識すべきではないか。

**答** この時点で断念ということとは、完全白紙に戻すということだと思います。

**問** 2017年の議会で私は前町長に住民の疑問や意見をしっかりと聞いて洞爺地域の振興策を考えるべきだと質問しました。前町長は「ごちゃごちゃして、まとまるものもまとまらない」と答弁し、その後、地域住民の生活に関わる重大な開発行為であるにも関わらず、僅かな期間で決め、僅かな人数でそれを推進してきたことについてどう考えているのか。

**答** 議員からご指摘ありましたように、まずは洞爺地区の皆様、事業計画中止の経緯を説明していきます。



開発計画が「白紙」となった旧サンシャイン他

**問** 住むこと、働くこと、食べること、健康を育むことなどのライフラインの基盤が、洞爺地域は崩れつつあると危惧されます。洞爺地域の特性、そして住民のニーズや将来像をどのように考えているか。

**答** 今後は、地域における課題やテーマについて、広く地域のご意見を伺って、何が問題なのか、何が課題なのかといった点を、情報共有していきながら地域づくりに取り組んでいきます。

**問** 洞爺地域と虻田地域を結ぶ交通網の整備について

5月に実施した「今後の方向性」懇談会では、ようやく、「来年3月に優先して実行する」とあるが、実現の見通しはあるのか。

**答** 地域の声も改めて確認しながら、まとめて議会のほうにも説明します。

### 質問 2

障害者の交通費補助制度の実施を

**問** 伊達市をはじめ道内の自治体が実施している、心身に重い障害のある方の外出を支援するための交通費助成事業を実施する考えはないか。

**答** 財源確保も踏まえた中で特に障害者自立支援協議会における有識者のご意見をいただき協議致します。

### 質問 3

安倍晋三氏の国葬について

**問** 9月27日に法的根拠もなく安倍元首相の国葬を行うとしている。国葬の実施に

ついても反対が賛成を上回っているほか、弔意の表明は「内心の自由」に関わるもので、役場庁舎での特別な対応や町民や職員への弔意表明は促すべきではありません。町長の認識を伺う。

**答** 政府が国葬と決めているわけですから、それにふさわしく対応するのが国の一部を構成する自治体の首長の役目であると思います。本庁舎に半旗を掲揚し、洞爺湖温泉内に献花台を設けます。教育委員会等には、指示する考えはありません。

**問** 町長は、国葬の決定を「健全な民主主義の表れだ」と述べたが、憲法14条の法の下での平等、憲法19条の思想及び良心の自由にも違反する行為だと思われませんか。

**答** 国葬の開催議論については、政党内で議論していただくところであろうかと思えます。

# 町民が活動しやすい 環境整備を



今野幸子 (日本共産党)

## 質問 1

**保育料の完全無料化・高校生までの医療費の無料化・中学入学生への支援・高校生通学費助成の4点について**

**問** これら4点は、それぞれ3月会議に間にあうように事務作業が進められ、事業に係る予算案が3月会議案に提案はできるか。

**答** 保育料完全無償化・中学校入学支援・高校生通学費助成事業は、必要な準備は進めています。高校生までの医療費の無償化は、条例の改正を早期に提案し、可決いただければ、事務規則改正を行い、新年度予算へ計上します。

## 質問 2

**洞爺湖町プールと洞爺湖町水泳プールの現状と今後の対策について**

**問** 虻田地区プールに雨漏りやプールの中のコーティングの剥れ、水流の弱さ等、

メンテナンスが必要だ。洞爺地区も同じく、それぞれの直近の点検とメンテナンスはいつ行ったか。

**答** 令和2年度・3年度は、供用開始中止となり点検は行っていませんが、本年度開始に当り、昨年9月に点検し劣化や腐食等を確認しましたが、その後のメンテナンスは行っていません。



洞爺湖町プール

**問** プールそれぞれの今後の対策は。

**答** プールは経年劣化が顕著となった際には廃止という基本線に、洞爺地区プールが沿ったものかどうかの検討が必要。虻田地区プールは、必要なメンテナンスは進めてまいります。

**問** 虻田小学校グラウンドとプール間の通路は、昨年度

望後、整備したが、砂利が出てきている。この道を舗装する考えがあるか。

**答** 栄町12号線の舗装に伴ってできた段差解消については、今回の補正予算に提出しました。流れた再生砕石の部分については、当然補充等していかねばならないが舗装整備の検討は行っていません。

## 質問 3

**母と子の館体育館の雨漏り対策について**

**問** 雨の日に母と子の館の体育館を借りたスポーツ団体、体育館の真ん中にバケツやたらいが雨漏り対応で置いてあり、思い切ったスポーツができない状況でした。何年前から雨漏りを確認し、今までどのような対処をしてきたか伺う。

**答** 平成30年5月に確認し、バケツを置き様子を見ていました。雨漏りの頻度が増え、今年雪解けを待って点検を行ったが原因箇所の特定に

は至っていない。屋根部材の板金のつなぎ目が緩んでいる可能性があると報告を受けた。バケツを増やす対応で修繕は行っておりません。

**問** 母と子の館は、スポーツに限らず多くの人に利用され、避難所にもなっていて平成26年には耐震対策も行われている。バケツでの対応ではプールと同じように劣化を進めることになる。今後の対策は。

**答** 将来的には複合施設として統一する施設の一つとなつていますが、避難所と指定されるとともに、少年団の定期利用者も多く早急な対策が必要と認識してまいります。早期に対応してまいります。



母と子の館



# しっかり町の考え方を

## 千葉 薫 (有志会)

### 質問 1

マイナンバーカードについて

**問** 洞爺湖町の現在の普及率は。

**答** 8月31日時点で35%です。室蘭市は49%、伊達市は45%、豊浦町は30%、壮瞥町は59%、全国では47%です。

**問** 国では国民に加入を求めて事業を行なっているがその内容は。

**答** カードの普及や活用の促進と共に、消費を活性化させる目的でマイナポイントを付与する事業等を実施しています。QRコード決済や電子マネーなどのキャッシュレス決済サービスに利用できるもので、新規取得者には、5千円のポイント、健康保険証としての利用申込みや公金受取口座の登録者には、それぞれ7500円のポイントが付与されます。

**問** このカードの懸念に対する安全性は。

**答** カードは顔写真入りです。オンラインで使用するには暗証番号の設定があります。またICチップから不正に情報を取り出そうとした場合はICチップが壊れる仕組みです。そういうことから、落とし

も他人が使える事は出来ません。またチップには大切な情報が入っており、各行政機関において管理しています。国においては、コールセンターを配置して一年中利用停止を受け付けています。

**問** 他の自治体では独自に加入に向けて推し進めているようだが、当町の取組は。

**答** 熱心に取得向上に努めています。いまでもですが、地方交付税の財政需要に反映させるとの報道もあり、今後は普及促進、申請率向上に取り組んでまいります。

### 質問 2

洞爺地区の地域振興について

**問** いこいの家周辺に建設予定だったホテルが中止になったが、その経緯は。今後の方針は。

**答** 長引くコロナの影響とウクライナ侵攻による世界情勢の不安定な状況から、新規事業の中止を余儀され見通しが立たない、洞爺湖町にも迷惑をかけるということで白紙にするとの文書回答でした。今後企業誘致では、単独では行なわず担当者を入れて必ず筆記をして確認を致します。

**問** 町営浴場の新設は白紙か。

**答** 観光開発計画において、場所移転を新築計画となっていました。健康増進と地域の交流の場として形成されていきますので、存続する方向で検討を進めてまいります。

**問** 洞青寮についての考え方は。

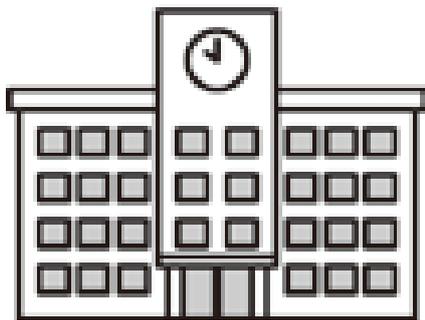
**答** 洞爺地区地域振興策報告書に基づいて、定住対策の活用として対応していたが入札不調に終わり、今後は様々な企業から現在問い合わせがあり、柔軟に対応していきたいと思えます。

### 質問 3

虻田中学校校舎について

**問** 虻田高校への移設の件の白紙について。

**答** 虻田高校の空き教室の活用については、財産管理上、道と町という立場で管理上いろいろな問題が出てくるという部分で難しいと思っております。また町立への移管というのもハードルが高いと考えています。何が児童生徒の学びの環境として一番良いのか、早い時期に一定の方向性を示してまいりたいと考えています。



# 将来ビジョンの実現と同時に 課題の解決を確実に



五十嵐 篤 雄 (有志会)

## 質問 1

洞爺湖町の将来ビジョンについて

**問** 3地区、それぞれの特色を生かした地域づくりを進めるに当り、特に重点を置いていることは。

**答** 虻田本町地区では、ホタテ養殖を主流の水産業と商業、温泉地区は多くの観光客を迎える観光業、洞爺地区では、農業とキャンプなどのアウトドアと特色を活かした町づくりを重点を置く計画になっていますが、地区割りではなく、おもてなしの場・生活の場・生産の場の視点から町づくりを考えていきます。

**問** 二つのユネスコ遺産のジオパークと縄文遺跡があり、国立公園でもあり、ぐるっと彫刻もある。恵まれた環境資産をうまく活用してほしいが。

**答** 洞爺湖の中島での自然学習、道内の縄文遺跡群の連携による入江・高砂貝塚の認知度を高めるなどジオパー

クの温泉・洞爺地区、縄文遺跡の虻田地区という形で取組んでいきます。



入江・高砂貝塚館

**問** 各地区の産業に対するお持ちのビジョンについてその方向性等の思いは。

**答** SDGs 持続可能な目標の取組み視点から、「海の豊かさを守ろう」として漁業は経営基盤の確立と担い手の確保、「陸の豊かさを守ろう」として農業ではインフラ整備と生産基盤の強化、観光については二つの遺産を有効に活用したいと思えます。

## 質問 2

洞爺地域の課題への取り組みについて

**問** 洞爺湖芸術館の所蔵品の保存、保管ついて、また専門性が持てる部署での管理を考えてみてはどうか。

**答** 教育委員会に所管を戻し教育分野でのネットワークや関係機関と調整を図りながら作品管理に最善策を講じるとともに芸術館の方向性についても慎重に進めたいと考えています。

**問** 使用出来なくなった学校プールの今後は、修理は可能か。

**答** 修理は見積もりで4、5千万です。地域や保護者の皆様に意見を伺いよりよい方法探り、早い時期に一定の方向性を示したいと思えます。

**問** 計画断念により今後の「いこいの家」や、旧サンシャインホテルは。

**答** 現状を維持しながら、今後新築も含めた計画について検討していきます。ホテ

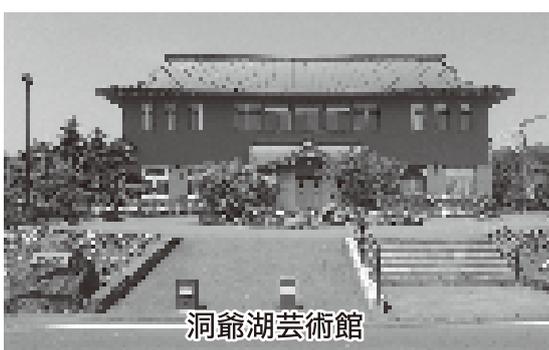
ルについては、早期の解体に向けた調整をいたします。

**問** 新しい手法で洞青寮の活用について具体的な進展が図れるのか。

**答** 興味を示している企業と十分協議を進め、新たな手法や提案なども探りながらスピード感を持って検討を進めます。

**問** 緑沢公営住宅の跡地の活用について、検討は進んでいるか。

**答** 洞爺地区全体の在り方を考慮した上で跡地利用の方向性を見出す必要があると考えています。



洞爺湖芸術館



# ふるさと納税・税収アップで町の活性化を

## 板垣 正人 (公明党)

### 質問 1

#### ふるさと納税について

**問** ふるさと納税の取り組みについて伺う。(人員・目標等)

**答** 洞爺湖町ふるさと納税ブランド力強化事業計画を作成して、年次計画をもって進めています。その計画の中では、認知度の向上、返礼品の確保、リピーター確保、基盤強化という四つの重点項目を軸にブランド力の強化を図っています。また、来年度の機構改革に向け、稼げる行政に向けて、会計年度任用職員地域おこし協力隊も活用しながら進めていきます。

**問** 企業版ふるさと納税の取り組みについて伺う。

**答** 本年4月に民間企業1社から企業版ふるさと納税の寄附の申出があり、予算措置を行い、この寄附金を財源として現在事業に着手しています。また、北海道が実施するセミナー等に積極的に参加

して、様々な企業との関わりを含めて、本町が行う事業に興味を持っていただき、企業版ふるさと納税の拡充に努めていきます。



### 質問 2

#### 洞爺地区の地域振興について

**問** 洞爺地区の地域振興で、いこいの家・洞青寮・財田美沢線について伺う。

**答** いこいの家につきましては、現在の状況のまま使用するというところで考えてい

ます。その際に必要な修繕等が発生した際には、必要な措置をしていきます。また、老朽化対策については、地域の方々にいろいろな意見を伺いながら、検討していきます。

洞青寮については、洞爺地区の地域振興策の報告書の提言も踏まえて、興味を示している企業とスピード感を持って協議をしていきます。町道財田美沢線につきましては、車両同士のすれ違いも容易でない状況ですので、まずは待避場の確保に向けた調査研究から進めていきます。

### 質問 3

#### 公営住宅について

**問** 冬期の除排雪問題について伺う。

**答** 除排雪の対応策の一つとして町で手押し除雪機を購入して貸し出す案もあります。また、入居者が共同で民間の除排雪業者への排雪について資金を出し合って依頼する事例もありますし、社会

福祉協議会で募っている有償除雪ボランティアサポートなど活用しながら問題解決へ近づける努力をしていきます。

**問** 公営住宅の住宅使用料(特に収入超過者等)について伺う。

**答** 収入超過者の対応については、少子高齢化が進む中で、公営住宅の空き室率も高止まりしていることを考えますと、長く住み続けられる町独自の取組について調査研究して前に進めていきます。



洞青寮

# 審議会等に女性委員の参画を進めるために

石川 邦子



## 質問 1

**男女共同参画計画の具体的な取り組みについて**

**問** 様々な政策の意思決定の場である審議会等において、男性のみの委員で構成されている審議会等があるが、女性の意見反映と今後の女性委員の参画について伺う。

**答** 女性の意見が反映された国のガイドラインを参考にしたり、アンケートなどで女性の視点での意見反映をしています。今後、女性が参画しやすい環境づくりや人材育成、人材の掘り起こしに取り組めます。

女性委員の参画については防災会議の場合、国から女性委員の比率30%と示されており、女性が就くことが多い保健師や看護師などの専門職の女性の登用を考えています。

令和5年の改選期に10%以上確保し、段階的に女性の登用を図り、令和9年までに目標である30%をめざします。

**問** 男性の育児休業の対象者及び取得状況について伺う。

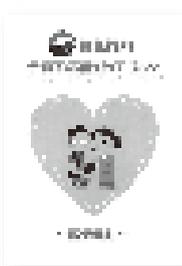
**答** 対象者は6名、取得者はおりませんが、過去に1名取得した経緯があります。

**問** 男性職員の育児休業の取得促進を図るため、本年5月2日付発出の総務大臣書簡の内容について伺う。

**答** 主な内容は、地方公務員育児休業法の改正にあわせ、地方公共団体における仕事と育児の両立や女性活躍を進めるためにも男性職員の育児休業の取得について、組織として具体的な目標を設定しより積極的な取り組みを推進することとしています。

**問** 取得しやすい職場環境整備について伺う。

**答** 子育て応援ハンドブックを全職員に配布したり、上司や同僚の理解を促すなど職場の周知徹底を図ります。



子育て応援ガイドブック



**問** 家庭や職場における男女共同参画意識の向上をめざす取り組みについて伺う。

**答** 令和4年度は、計画の基本の実現に向けた意識づくり重点を置き、広報などによる情報発信や講演会の開催、啓発グッズの作製などを進め男女共同参画意識の高揚を図るなど、男女共同参画の推進に積極的に努めます。

## 質問 2

**町史編纂事業の計画について**

**問** 令和8年3月に、合併してから20年の節目の年を迎えるが、合併20周年記念事業としての「洞爺湖町史」発行の考えについて伺う。

**答** 町史の編纂及び発行については、洞爺湖町まじゅうり総合計画の下期、令和4年度から令和8年度までの5ヶ年における事業計画に取りまとめられ、計画の主要事業に位置づけられており、合併20周年記念事業として発行するものと考えています。

**問** 編集委員会の立ち上げや予算計上など何年度から行う予定なのか伺う。

**答** 発行時期や掲載項目、編集委員体制については現在検討中ですが、出筆から発行までの作業時間が長期にわたることから、令和5年度から予算を計上して、併せて編集委員体制も構築したいと考えています。



蛇田町史・洞爺村史



# ふるさとを誇りに 思える教育環境を

越前谷 邦 夫 (令和会)

## 質問 1

**洞爺湖町総合成長戦略について**

**問** 洞爺地区の将来像について。

**答** 洞爺地区は農業生産の環境整備拡充に努め、湖のそばで暮らせる心のゆとり、移住などによる移住促進を図り、広域的視点から洞爺地区の地政学を生かした後志との連携、農業だけでなく、自然を生かした観光にも可能性があると考えています。

**問** 洞爺地区は自然環境が豊富なところであり、教育文化の香り高い地域でもある。全国の方々にも注目されている秘境、芸術館、歴史深い三樹園も利用価値がある。洞爺地区には4本の泉源がある。その泉源を、活用する転換を図るべきと思う。青少年健全育成への利用計画の施策が見えない。教育、文化、福祉、養殖等への施策を持って将来像の共有が肝要である。行政議会、住民が三者一体となっ

て洞爺地区を振興させるべきと思うが。

**答** 景観、秘境、地域資源を掘り起していきたい。芸術館と三樹園も連携して考えて行きたい。泉源利活用は広く意見を募りながら考えて行きたいと思います。

**問** 小葉(台湾資本)は洞爺地区の開発計画を白紙にした。そのことによって、ここの家周辺用地売却財源での浴場建設計画はどのようになるのか。さらには、旧サンシャインホテルをいつ頃まで野ざらしにするのか。

**答** 売却予定額当時4億円。いこいの家等について提言を受けた。引き続き、地域懇談会、既存の計画等を見直しながら三者一体となって前に進めていきます。解体に関する財源はさまざま調整を計りながら、基本的には一般財源を主に解体を考えております。

## 質問 2

**教育ビジョンについて**

**問** 第2次洞爺湖町の教育目標と教育ビジョンの見直し、検討委員会が設置されたがその真意と現教育行政の課題、克服には何が必要か。

**答** とりわけ、学校現場で培った教員としての視点や経験を生かし、学校現場に、より近い存在として現場の教職員に寄り添いつつも必要な指導、助言を的確に行いながら、適時適切に支援を行って参りたい。当町において虻田中学校校舎をはじめ、多くの教育施設が老朽化に伴う課題を抱えており、教育のソフト面における構想と併せて、施設などのハード面での計画も一体的に捉えた総合的な計画を構想していく必要があると現在認識しております。

**問** 教育行政ビジョンは洞爺湖町まちづくり総合計画との整合性に留意していかなければならない。教育理念はふるさとを誇りに思える教育自立と共生を独立したものでなく、一つのものとして位置づけを図って邁進していただきたい。津波浸水想定区域内

にある本町保育所と老朽化している入江保育所との統廃合による令和6年度の建設計画が教育長の行政報告によると複合化することだが。

**答** 複合化することで住民の利便性が向上する施設になるよう検討しております。令和6年度着工が一年間遅れるということも予定していません。

**問** 渋川教育長の職歴から小中義務教育一貫校を成し遂げている。洞爺湖町においても将来的な人口減少、少子化の流れから小中義務教育の一貫校を成し遂げるのではないかと思う。決意の一端を伺う。

**答** 総合的に捉えていかなければならないと思っております。教育委員会主導というより地域、保護者、議員にお諮りしながら丁寧に進めていく必要があります。一方でスピード感を持つての部分も大変必要でバランスを取りながら調整して行きたいと思っております。

# 常任委員会 活動レポート

## 総務常任委員会

### ■調査事項1

洞爺湖芸術館の取組みと現況について

#### ●調査日

7月21日（木）

#### ●調査結果

洞爺湖芸術館は、町村合併後に旧洞爺村の庁舎を補修整備し、保有していた貴重な芸術作品等を展示する施設として活用しているものである。

歴史ある建造物であり、今後も引き続き活用が期待されていることから、その維持管理や取組みについて調査を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度と令和3年度の入館者数は減少しましたが、特別展やコンサ

ートなどを開催し、利用者の増加に取組んでいます。

近年は、展示している作品に影響を与える害虫の発生が確認され、防虫と殺虫のため薬剤散布などを毎年実施し、一定の効果はあげているものの解決には至っていません。現在は、昨年度において、害虫とその発生地点が特定できたことから、各専門家からの情報提供を受けるとともに、建物の環境改善の検討に取組んでいるところである。

洞爺湖芸術館については、町の貴重な財産であることから、現時点で対応可能な措置を当面行いながら、害虫の生体をつかり調査し、施設の存続に向けた取組を積極的に進めていただきたい。



### ■調査事項2

ふるさと納税寄附の取組みと状況について

#### ●調査日

7月21日（木）

#### ●調査結果

ふるさと納税寄附は、自治体において貴重な自主財源となっており、各自自治体では様々な取り組みを積極的に展開し、その財源を地域活性化などに有効に役立てている。当町においても、ふるさと納税寄附推進の取り組みに注力しており、先進地への訪問や広告の拡充、インターネット上の寄附金紹介ページを増やすなどしながら、昨年度は1億4千万円を超える寄附金額となっている。

ふるさと納税寄附は、独自財源を確保する手段であり、子育て、教育、福祉などにおける町独自の取組を今後も引き続き進める上で重要なものとなっており、町の特産品PRにも重要な役割を果たしている。

今後新たな取組の実施を予定しているとのことである

## 経済常任委員会

### ■調査事項

空家対策の取組みと現況について

#### ●調査日

7月13日（水）

#### ●調査結果

近年は、少子高齢化による人口減少が急激に進んでいる。当町においては空家となっている建物が数多く見られ、中には老朽化が激しい建物もあり、周辺の環境に影響を与えている。このことから、町内における空家の状況と町の対策について調査を行いました。

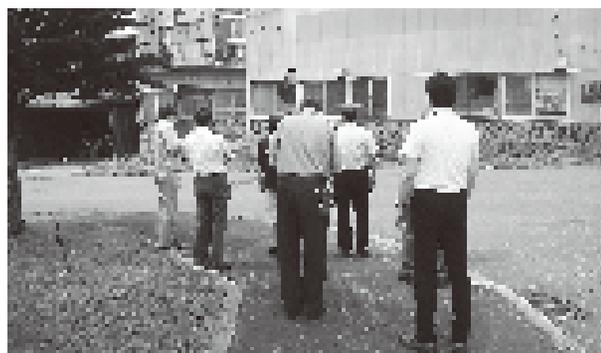
当町は、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、平成29年度に「洞爺湖町空家

が、現在担当している職員の業務が増大することが予想されることから、確実な業務の遂行と、更なる寄附金額の増額推進、町の魅力アップと行政サービスの安定的な提供が図られるよう、専門の職員を配置するなど、積極的な取組みが必要である。

等対策計画（第1期計画）」令和4年度に第2期計画を策定し、高齢化や核家族化などにより、増加が見込まれる空家もたらず周辺環境への影響防止のための施策を推進しています。

空家状況の調査は随時行っており、職員が調査用のチェックシートに基づき実施、平成29年の調査では73件でしたが、令和4年1月には改築や解体、入居済などにより26件となっております。また、特定空家等の状態になることを未然に防ぐため、地域住民からの情報と外観調査により、適正な管理が行われず周辺環境に悪影響を及ぼしていると判断した場合は、適正な管理を実施するよう文書による通知も行っています。

空家は私有財産であることから、空家と認定することも難しい点が多くあると思うが定期的な調査をしっかりと行い実態の把握に努め、周辺住民への影響の解消や事故が発生しないよう必要な措置の推進に取り組んでいただきたい。



## 通年会期制

議会は、一年間を会期とする通年会期制となっています。

このことにより、常に議会が活動できる状態となり、議会を開く日（定例日）はあらかじめ決まっていますが、必要なときはいつでも議会を再開することができます。本議会の多様な運営や災害時の緊急対応、委員会活動の活性化など、議会の主導的な活動に取り組んでいます。

### —— 来年3月までの定例日 ——

- ・ 令和4年12月会議 令和4年12月12日から開催予定です。
- ・ 令和5年3月会議 令和5年3月6日から開催予定です。

### 質問などは要約されています

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録がおりますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問い合わせ 議会事務局 Ⅸ0142-74-3011

## 議会の動き

### 7月

28日 令和4年7月会議（P 2、3 参照）

### 8月

12日 全員協議会

22日～24日

決算審査（監査委員）

24日 例月出納検査

29日 会派代表者会議

30日 経済常任委員会

31日 総務常任委員会

### 9月

1日 全員協議会

5日 議会運営委員会

7日 経済常任委員会

12日～21日

令和4年9月会議（P 2、3 参照）

12日 議会広報常任委員会

14日 正副議長・委員長会議

20日 全員協議会

議会運営委員会

27日 例月出納検査

### 10月

14日 議会広報常任委員会

18日～21日

箱根町親善訪問及び先進地視察研修

24日 全員協議会

議会広報常任委員会

25日 胆振管内町村議会議員研修会

28日 例月出納検査

## 洞爺湖 ビジターセンター

（表紙の写真）

ビジターセンターは全国28の国立公園において、国立公園の自然や利用に関する情報の提供などを目的として環境省が整備しています。

洞爺湖ビジターセンターは、周辺の自然環境やそこに生きる動植物などの展示、解説を通して、訪れる方々に洞爺湖をより親しんでもらうため、情報提供をしている施設です。是非、施設をご利用ください。

### ● 休館日

12月31日～1月1日

### ● 入館料

無 料

※併設されている火山科学館を利用される場合は有料となります。

### ● 問合せ

☎ 75-2555

## 編集後記

今年も残すところ一ヶ月半余りとなりました。振り返るには早過ぎるかもしれませんが、皆さんにとつてどの様な一年だったでしょうか。

コロナも発生から4年目に入ろうとしています。観光面など、経済支援を受けて賑わいも出ていますが、「ウィズコロナ」節度ある生活を心掛けていきたいものです。

ロシアによるウクライナへの侵攻は、私たちを驚かせました。安倍元首相への銃撃による死もまた衝撃的な事でした。

何か平和な世界へ歩んでいるはずなのに・・・やはり私たちは、ぬるま湯に浸り過ぎているのでしょうか。

10月より物価の値上げが、日用品を始め六千品目にも及ぶとの事、今後とも政府の対応を望むところです。只、悪いことばかりではなく良い事もたくさんあったはず、来年には、コロナが早期に収束し楽しく幸せな日々が多く続くことを祈るばかりです。

千葉